

REX4741 保護リレー試験コントローラ 定格

マニュアルスイッチまたは制御信号入力、GPIBの外部制御により試験を開始する。

総合試験コントロール

動作シーケンス	閉路なし、再開路あり、再遮断
故障方向	線路PD, 母線PD
ブリトリガ時間	0.1ms～600ms 0.1ms分解能およびOFF
故障継続時間	0.01s～600.00s 0.01s分解能およびOFF
出力周波数	50Hz固定, 60Hz固定, 外部同期, ライン同期
スタート信号入力	電圧 (0～+130V 判定電圧: 2.5V) または接点 いずれもフローティング
急変指令遅延出力	0～5V TTL信号 コモン側は筐体電位
急変指令直接出力	0～5V TTL信号 コモン側は筐体電位
ブリトリガ出力	接点容量 AC 30V 0.1A, DC 30V 0.2A
周波数同期信号	入力: ±30V以内 スレショルド電圧+2.5V TTL信号 コモン側は筐体電位 出力: 0～5V TTL信号 コモン側は筐体電位
総合試験制御信号出力	保護リレー試験器 (RX4717, RX4718, REX4707A/ 4709A/4708A/4710A/4722, RX4713)の並列制御信号 コネクタに接続し、定常・故障のコントロールと周波数同期を行う。

出力切換器 (3種類の出力切換器を内蔵)

	電圧切換器	電流切換器	三相電圧相切換器
チャンネル数	1	2	1
連動機能	単独・連動	単独・連動	単独・連動
入力相数	1	1	3
切換モード	地絡・短絡	地絡・短絡	――
切換先	R-S, S-T, T-R R-N, S-N, T-N	R-S, S-T, T-R R-N, S-N, T-N	R-N, S-N, T-N
最大電流値	AC 1A	AC 25A	AC 1A
最大電圧値	AC 250V	AC 30V	AC 250V

※切換えタイミングは、電流モードがショータンギン、電圧モードがノンショータンギンです。

タイムカウンタ

チャンネル数	4
計測信号	模擬遮断器トリップ信号 : 急変開始からトリップ信号入力までの時間 模擬遮断器リクローズ信号 : トリップ信号入力からリクローズ信号までの時間 模擬遮断器再トリップ信号 : リクローズ信号から再トリップ信号までの時間
応答入力	インターバル、ワンショット、動作／復帰の3モード
計測時間	0～9999.9ms, 10.000～99.999s, 100.00s～999.99sの3レンジ 自動レンジ切換
計測値演算機能	計測信号時間の最大値、最小値、平均値を演算・記憶
計測精度	± (0.01% + 1digit) 以内

模擬遮断器

制 御	トリップ入力, クローズ入力, 正面パネル, GPIB
ロック	トリップ入力, クローズ入力による制御の禁止
相 数	RSTの三相
トリップ入力および クローズ入力	相 数: 三相 定格電圧: DC 110V 定格電流: 0A, 1A (110Ω) , 5A (22Ω) の3点切換 最大電圧入力: DC 130V 遅延時間: 30ms～250ms 1ms分解能 信号・筐体間耐電圧: AC250Vrms 1分間 接点出力: 各相4つのc接点 遮断電流 5A (DC 110V) 模擬遮断器外部制御コネクタにより拡張可能
オシロモニタ	トリップ信号およびリクローズ信号電流をモニタ

応答入力選択器

	スタート信号入力	ストップ信号入力
チャンネル数	4 (A B C D)	4 (A B C D)
電圧信号入力	フローティング 0～+130V 判定電圧 +2.5V	フローティング 0～+130V 判定電圧 +2.5V, 8V, 50V
接点信号入力	フローティング +5V (開放電圧) 10mA (短絡電流)	フローティング +5V (開放電圧) 10mA (短絡電流)

※外部応答信号入力: 50ピンマルチコネクタ, セレクト信号により4×255チャンネル選択可能

その他

インタフェース	GPIB
電源／消費電力	AC85V～115V/180V～240V 100VA 自動切換え 48Hz～62Hz
性能保証温湿度	0～+40℃ 10～80%RH (結露なきこと)
外形寸法 (mm)	430(W)×250(H)×469(D) 突起物含まず
質 量	約17kg
付属品	前面カバー, 電源ケーブル, 電源渡りケーブル, 単相電流出力渡りケーブル, 単相電圧出力渡りケーブル, 三相電圧出力渡りケーブル, 単相×3, 三相4線電圧渡りケーブル, 制御信号渡りケーブル, 応答信号出力渡りケーブル, 100Vコンセント用3ピン→2ピン変換アダプタ, 付属ケーブル用バッグ

※ご注意: 従来品のリレー試験器 (REX4700シリーズ, 4707～4710) と接続する場合は、
リレー試験器のソフトウェアをVer. 2.0以上に変更する必要があります。
詳しくは、当社までお問い合わせください。